北本市公共施設マネジメント実施計画

＜北本市公共施設適正配置計画編＞

資料編　市民ワークショップ

令和２年３月

北本市

市民ワークショップ

1 全６回市民ワークショップの概要

1-1 市民ワークショップの概要

目的：　　これからの公共施設のあり方について、幅広い世代の視点で議論

応募状況：　10 代 3 人、20 代 3 人、30 代 3 人、40 代 2 人、50 代 1 人、60 代 11 人、
70 代 4 人、80 代 3 人　※特別参加の北本高校生 3 人含む

各回テーマと参加人数：

回数	日時	テーマ	参加人数
第１回	12/1（土） 10:00～12:00	意見交換の方法やルールについて	18
第２回	12/15（土） 10:00～12:00	公共施設の現状と課題、今後のあり方について	20
第３回	1/19（土） 10:00～12:00	学校施設のあり方について	18
第４回	2/9（土）10:00～12:00	公民館のあり方について	23
第５回	3/2（土） 10:00～12:00	全市的な公共施設のあり方について	16
第６回	4/13（土）10:00～12:00	第1回～第5回のWS結果のまとめ	16

1-2 主な意見

適正配置方針に関わる事項について：

・若い世代、将来世代のニーズを念頭に入れた再編を行う。
・数値的根拠をもって判断、専門家の意見を聞く、優先順位を決めて行う。
・再編検討は、まずはモデルケースを定めて検討を進める。
・施設見直しの体制作りが必要。

学校について：

・再編を行うべき。
・廃校の利活用としては、地域交流拠点、保育・福祉施設、防災施設、民間への貸出を行う。
・余裕スペースの利活用としては、上記廃校の利活用方策とともに、放課後の学習施設、音楽室、パソコン室、体育館等の空き時間を利用した市民サービスを提供する。
・余裕教室の利活用では、子どもと一般利用者との動線を分けるといった安全面に配慮する。

公民館について：

・若い人や働いている人は公民館を使わない、使い方もわからない。
・地域コミュニティ活動の場として使われている。
・集約化して数を減らす。学校施設との複合化。
・社会教育法の枠組ではなく、貸館機能に加え高齢者や子どもの居場所、子育て交流の場、地域交流の場等の機能を検討する。

文化センターについて：
・市のシンボル的存在であるため残す。
・図書館は残す。
・イベントの魅力化、駐車場の確保、交通の便の改善、利用料金の見直し、民間活力の導入で利便性を高め、利用の向上を図る。
・会議室・研修室は地域公民館で代替し縮小、プラネタリウムも見直す。

体育センターについて：
・継続維持、西側にも必要。
・公民館と類似する機能であるため整理・統合する。
・郊外にあり、交通手段の確保を検討する。

野外活動センターについて：
・現状維持。
・カラオケや経費のかかる風呂は廃止し、野外活動を充実させる。
・予約方法や市内の人の優先予約、市内外での利用料金差等を検討し、市民サービスの向上を図る。

健康増進センターについて：
・施設全体、特に風呂の機能は維持費が高いため、見直しを検討し、健康増進の取組みは公民館で検討する。
・ＰＲ不足で、利用者も限られている。

その他：
・施設利用料金の適正化、市外利用者の利用料金を上げる。
・保育所の集約化を検討。
・公共交通手段の確保、駐車場の確保。
・どこにどのような施設があるのか、どのような機能でどう使えるのか、といった施設の情報発信が不足。

2 第１回市民ワークショップ

2-1 第１回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	１２月１日（土）10：00～12：00
テーマ	意見の交換方法やルールについて
場所	市役所　３階　会議室　３－E、F
参加人数	18 人（男性 15 人、女性 3 人）　5 テーブル構成

＜説明＞

・「北本市の公共施設マネジメントの取組み」として、市の財政状況及び公共施設等総合管理計画ついて説明

・「ワークショップにおける論点」について有識者による説明

＜概要＞

意見の交換方法やルール等について説明し、自己紹介等を行いました。

2-2 第１回市民ワークショップの結果

第１回市民ワークショップは､予定されていた意見交換の時間が確保できず、グループワークは実施しなかった。しかし、初回のワークショップでもあることから、ワークショップの基本である､「自己紹介」「グループワークの方法、成果発表の方法」について実施した。第 2 回で第 1 回分を合わせ実施することとした。

3 第２回市民ワークショップ

3-1 第２回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	１２月１５日（土）10：00～12：00
テーマ	公共施設の現状と課題、今後のあり方について
場所	市役所　３階　会議室　３－A、B
参加人数	20 人（男性 16 人、女性 4 人）高校生 3 人　5 テーブル構成

＜説明＞
・「市民アンケート調査結果（抄）」について事務局より説明

＜概要＞
　公共施設と民間施設の違いなどから、重要だと思う「公共施設の役割」について考えて頂き、その上で、ふだん公共施設を利用する機会や、市の公共施設に関して「見直した方が良い」と思うこと、「今後どうしたらよいか」について意見交換を行いました。

3-2　第２回市民ワークショップのまとめ

全体の意見交換結果―公共施設の役割、問題点・課題

大項目		施設名（機能課題）	意見	班
公共施設の役割 （機能の確認）	災害	全体	避難場所	A
			避難場所	E
			災害時の避難所、倉庫・自治会の拠点	D
	子ども	全体	子どもの遊び場	A
			雨天時の遊び場	A
	学習	全体	文化・教育・学習	A
		公民館	生涯教育の拠点	D
			学習の場（講習会等）	E
		学校	学習、地域の防災、子育て	E
		図書館	学習、読書、調べもの	E
		公民館・図書館	公民館・図書館は市民の教育の場	C
	コミュニティ	全体	地域のコミュニケーション	A
			市民をつなぐ	A
			サークルや勉強会などに参加し、高める場	A
			憩いの場	A
			地域の人々が気持ちよく使う場所	A
			その地域に住んでいる人が多少は便利になる場所	A
		公民館	地域コミュニティの拠点場所	D
			地域自治会の会議等の利用場所	D
			地域住民の集まり場所、話の出来る場所	D
			地域に密着し、役立つ場（学習、つながり、防災、スポーツなど多機能なもの）	E
			集いの場	E
			地域に役立つこと	E
			防災機能の集中	E

大項目		施設名（機能課題）	意見	班
公共施設の役割 （機能の確認）	サークル活動	公民館	サロン活動の充実	D
			家族が「うた声」サークルで利用	D
			好きなサークル活動ができる場所	D
			市民の趣味や健康のための使用場所	D
	健康づくり	体育センター	健康増進活動の拠点	D
			体操も競技もできるスポーツの場	E
	福祉	保育所	子育て支援	E
		福祉・健康センター	福祉・健康(機能を統合する)	E
	生活の手続きをする	市役所	市政全般	A
			市政全般	E
見直し （問題点や課題）	小中学校の見直し	小中学校	きれいな環境にすべき	B
			減少に伴う生徒数	B
			小中学校の児童数の変化によって、学校の複合化を考えるべき	C
			児童・生徒数のバランスが悪い	C
			少子化対策	E
	子ども利用が不安	全般（子どもの利用）	子どもが使っていいのかわからない	A
			暗くて怖い	A
			古くて使いたいと思わない	A
			誰もいない	A
			駐車スペースが少ない	A
	災害時に不安	公民館（災害）	災害時における避難所として適切か？	B
	交通の利便性に問題	公民館	駐車場が少ない	C
			移動手段が充実していれば来館しやすい	C
		交通施設	交通施設の整備（バス運行、駐車場所スペース）	D
	知らない、使い方がわからない	全体	存在自体知らない	B
			使い方がわからない	B

大項目		施設名（機能課題）	意見	班
見直し （問題点や課題）	設備が古い、改善	全般（学習）	老朽化（トイレ等）	A
			wi-fiがない	A
		公民館	設備改修	A
			公民館のトイレがほとんど和式で使いづらい	D
			公民館の老朽化、空調の修理	D
			施設内の用具の充実	D
		体育センター	体育館がエアコンがなくて寒い	C
	図書館の利用改善	図書館（学習、その他）	老若男女に関係なく利用している	D
			分室のあるべき姿	E
	利用効率を上げる、利用の見直し	図書館（学習、その他）	運営時間の延長	B
			稼働していない施設の見直し	B
			読書、PC、勉強など目的別利用（長時間利用がいると着席できない）	D
		体育センター	料金が高い	B
		公民館	空いている教室・部屋・スペースがある？	A
			いつ使っていいのかわからない	A
			公民館の利用者カード発行、印刷などその都度手書きで記入。使いづらい。	D
		保健センター等	利用率が低い機能がある	B
		体育センター	体育館等予約が大変である	C
		多目的ホール	子育てセンターの見直し（利用者が少ない）	D
		議場室	市庁舎の議場室の利用率が低いので工夫が必要ではないか。	D
	利用料金が適正か	公民館	利用時における料金は適切か？	B
		包括センター	家賃が1か所300万円支払っている（80万円くらいなのに）公共施設に入れば0円になる	C
	施設見直し組織が必要	市役所	タテ割り行政見直し	E
		―	市民レベルでの市税の無駄がないか→北本全体を考える組織機関が必要	C

全体の意見交換結果―公共施設の改善方策、あり方など

大項目		施設名（機能課題）	意見	班
今後の方向 （方策、あり方など）	統廃合	公民館	老朽化施設を改修し長持ちさせる→ゆくゆくは統廃合	D
		小中学校	学区の見直し、統廃合	A
			学区の見直し、統廃合	B
			栄小は、南小に統合できると思う	C
			児童・生徒数のバランスを考えた再編	C
		図書館	維持できないならば廃止	B
	集約化	―	行政系の施設の集約が必要	E
		保育所	栄保育所中央保育所などを入れることができる	C
			小中一貫教育を実施するための再編	C
	複合化	図書館	学校施設との併合	B
		公民館	学校施設との併合	B
			エリア内に公民館　機能別に複合化する	D
			公民館内にコンビニを入れられないか？	D
		保育所	児童だけでなく、幼児の教育の場	C
	民間資金・ノウハウ活用	全体（学習機能）	民間による新設	A
		図書館	民間への委託	B
		公民館	利用率の低い機能は民間へ	B
			物品販売ができるようにする	C
	地域管理へ変換	―	子ども応援団、地域応援団など、ボランティアの力を借りる（歩道橋などが修理できる）	C
	利用料金見直し、財源増	公民館	設備の貸し出し料金の見直し（例：卓球台　AM 100円/台、PM 200円/台、夕方 300円/台）	B
			受益者負担をベースに利用代金を見直して収入アップにつなげる	C
		体育センター	料金を安くする	B
			他地域の利用料金を上げる	C
	利用効率を上げる、利用の見直し	―	今後の高齢化により、孤独老人、超高齢者が増大する→これらの対応策と施設の今後	D
			施設でできることを広げる	A
			空いているスペースを有効に	A
			利用数を上げる	A

大項目		施設名（機能課題）	意見	班
今後の方向 （方策、あり方など）	利用効率を上げる、利用の見直し	公民館	地域の拠り所（集会・会議等で集まれる場所）	C
			地域のコミュニティとして、人々が交わり交流できる場	C
			学校以外で子供たちが安心に集まれる居場所	C
			市民のレクリエーションの場（友達作り、スポーツ）	C
			地元から市内・市外までサークル活動の場所	C
			老人医療費を減らすためにも、公民館活動をやることで元気な老人でいられる	C
			市民全体の健康維持・増進のための役割	C
		学校	時間・曜日指定で、登録制にして空きスペース活用	D
		農業ふれあいセンター	農業ふれあいセンターの機能が不明。施設は教育委員会に関するものと、市に関するものの両方があるが、事業の整理ができてない	E
	周知する	—	機能の周知（LINE等）	B
			HPなどに使っていい日時などを詳しく書いてもらう（ネット予約？）	A
			多くの人に施設を発信する	A
			プリントにして学校と協力し配布してもらい利用を呼び掛ける	A
			何をやるところか明確にする	A
		公民館他	全市民に訪問させるorできる企画があるといい。知らないことから知ってることへ変化させる	C
		体育センター	体育館をスクール・サークル・広報などでもっと告知する。参加者を募集する	C
	災害に備えた設備などの改善	避難場所	避難場所再考が必要！	E
			ブルーシート・水タンク、テント、フード備蓄などの設備充実	D
	その他、新しい北本の魅力づくり	—	新駅、道の駅、特産品・産業、工業用地の誘致（人口減への対応）	D
		文化遺産	デーノタメ遺跡の早期整備	D
	その他、利用条件の変更	—	利用に対する制約を外す（活用範囲を広げる）	E
			条例の改正等で使いやすくする	E
	その他、施設見直し体制づくり	—	国・県のコミュニティに対する考え方で進められた事業	E
			事務局機能（自治会、社協支部他）	E
			方針を明確に（今後の市全体の進め方・政策の中でどう使っていくかで決まるのでないか）	E
			北本市の公共施設はどのようないきさつで設置されてきたか	E
			その考え方はどうだったのか見直す必要がある	E
			公共施設の配置はどうしてそうなっているのか	E
			市制施行以来、小学校区を単位にコミュニティづくりを進めてきた→この大きな流れの転換と今回のワークショップとの整合性	D

4 第３回市民ワークショップ

4-1 第３回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	１月１９日（土）10：00～12：00
テーマ	学校施設のあり方について
場所	文化センター　第３会議室
参加人数	18 人（男性 14 人、女性 4 人）高校生 2 人　4 テーブル構成

＜説明＞

・「北本市立学校の適正規模等に関する基本方針（案）」について担当課より説明

・「児童・生徒数、学級数の推移と将来推計」、「施設利用者アンケート調査結果（抄）」等について事務局より説明

＜概要＞

　学校施設は今後の少子化に伴い、余裕スペースが発生する可能性があるため、余裕スペース（廃校利用、余裕スペース利用）を活かし、地域の公共施設として考えたときの「学校施設の有効な活用方法について」考えて頂き、また、「実施する場合にはどのようなことに留意すべきか」について意見交換を行いました。

4-2　第３回市民ワークショップのまとめ

有効な活用方法①

大分類	小分類	提案	詳細	班名
学校施設を利用（廃校利用）	地域交流拠点	複数機能の集約	機能の具体例は余裕教室利用と同じ？	A
		地域活動センターにする	栄小は人数が少ないので南小に統合して、栄小をセンターに	C・E
		一か所家賃300万円の包括センターを入れる	—	C・E
		公民館にする	—	C・E
	福祉施設	福祉施設の維持	介護施設	B
		福祉施設の維持	健康増進センター	B
		老人施設と幼児施設の複合施設	年配者と幼児の交流	D
		老人施設と幼児施設の複合施設	子どもと高齢者の教育の場	D
	保育施設	中央保育所、栄保育を入れる	—	C・E
	防災施設	防災拠点としてグランドを利用	—	C・E
		食料備蓄場所	—	D
	民間利用	スポーツクラブ（会社運営）	—	D
		完全に開放し、個人的に借用したい人に有料で貸し出し	—	C・E
学校の余裕スペースを利用	地域交流拠点	公民館	地域の拠点、多世代の交流拠点	A
		くつろぎスペース	—	A
		地域コミュニティの活性化	公民館との統合	B
		地域コミュニティの活性化	地域文化を継承する場所	B
		学校と一体的な公民館にする	一部を会議・教育・講話ができるような専用の部屋として、賃料を払って利用してもらう	C・E
		学校と一体的な公民館にする	公民館は老朽化が進んでいるため廃止にする	C・E
		公民館の機能	地域住民のサークル・会議の場	D
		公民館の機能	生涯学習の場	D
	福祉施設	老人福祉施設	運営は業者？民間？行政？	A
		お年寄りでも使える運動マシーンを置く	高齢者が運動できる施設が必要だから	C・E
		一人暮らし老人に対応した使い方	—	D
		老人クラブに一部開放	子どもと老人の親睦を図る	C・E
	保育施設	保育所	小学校の連携により「小1ショック」の防止	A
		地域コミュニティの活性化	保育所	B

有効な活用方法②

大分類	小分類	提案	詳細	班名
学校の余裕スペースを利用	防災施設	消防団分団小屋（会議スペース）	—	A
		地域コミュニティの活性化	一時的な避難場所	B
		学校と一体的な公民館にする	防災拠点としての役割は残す	C・E
	娯楽施設	演奏スペース？	市内の小中学校全体の軽音・ブラスバンドを作って定期的に演奏	A
		大小ホール	他地域の小中学生との交流や講演会、卒業生の交流	A
		映画館		A
		高齢者の知恵を生かした教室	囲碁、漢字、古典、そろばん、詩吟、空手	A
		音楽個人練習室（スタジオ）	—	A
		コンピューター室	—	A
	スポーツ施設	体育館の夜間利用	—	A
		体育館を地域の運動施設として開放	卓球やバドミントンの団体に貸す（有料）	C・E
	勉強施設	学習室	受験対策用	A
		子どもたちが個別に放課後勉強できる施設	来たい人がいつでも来られ、指導者が数人いてほしい	C・E
		図書室を市民利用型に変更		C・E
	防犯施設	地域コミュニティの活性化	交番（セキュリティ施設）	B
		地域コミュニティの活性化	交通安全、見守り施設	B
		日常的な学校生活での見守り	子どもたちとの触れ合いの場	D
	行政施設	更生サポートセンター	法務省より指針が出されている	C・E
		不登校・ひきこもりサポートセンター	—	C・E
	民間利用	学習塾（民間）	—	A
		企業の事務所として貸し出す	—	C・E
		お金を生む有効利用	地域の特性を生かして、トマトの水場栽培	D
	その他	地域コミュニティの活性化	気象観測所	B
		給食棟を一般市民も利用できる食事支給施設に	—	C・E
施設跡地に新設	娯楽施設	運動場・公園の整備	小学校のスペースを減らして新設	A

どのようなことに留意すべきか

小分類	対策	班名
機能面	小中一貫校にして6～8校に集約	C・E
	市組織の見直しも（市役所機能の分散など）	C・E
アクセス面	利用者が来やすいか	B
	学校の統廃合と一緒にスクールバスを考える	C・E
	駅、公共バスの利便性	A
	シャトルバスの運行	D
管理面	誰が管理を行うか？（委託or地域）	D
	市に依存しない管理方法を	D
	費用・運営費がいる 民間に委託？適した民間があるかどうか	A
	スペースは有料で、地域の人が当番で管理する	C・E
安全面	通学時の安全性	B
	安全・セキュリティー →セキュリティカード導入	A
	児童の安全（セキュリティ）	B
	防犯対策	B
	避難所	B
	公共施設を入れる場合は、棟ごとに分けたほうがいい（小学校を高層階にもっていかない）	C・E
	子どもの安全確保のため、子供エリアと他のエリアは完全分離	C・E
	セキュリティの問題上、学校と他の施設は同じ建物ではなく別棟がいいのでは	D
	許可証、入退出ノート、プレート	D
設備面	バリアフリー	A
	wi-fi	A
情報面	空きスペースが利用可能かどうかの情報提供	D
その他	スカイプを使った全校一斉授業	A
	ルールを整備する	B

5 第４回市民ワークショップ

5-1 第４回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	２月９日（土）10：00～12：00
テーマ	公民館について
場所	文化センター　第３会議室
参加人数	18 人（男性 14 人、女性４人）高校生２人　４テーブル構成

＜説明＞
・「コミュニティの活動の現状について」担当課より説明
・「公民館等で実施している事業及び公民館等の稼働状況」について担当課より説明

＜概要＞
　学校とともに、地域の拠点施設の１つである公民館について、役割や実態を踏まえて、「今後の公民館にどのようなものを求めるか」、「今後の公民館をどのようにしていったらよいか」について意見交換を行いました。

5-2　第４回市民ワークショップのまとめ

公民館にどのようなことを求めるか

機能・役割などへ要望	意見など	班名
アクセス条件	アクセスが悪い	A
	現状は自転車移動 公民館と交通手段の位置関係がわからない	C・D
運営や管理の方法	維持費が高い	A
	市の運営に不満や文句が出ている	A
	周知が足りない	C・D
	部屋の借用料が高すぎる（鴻巣は100円/hです）	C・D
	コミュニティの行事と社協での行事がダブるときあり	C・D
	放課後の子どもの居場所がない、担当は何課？こども課か生涯学習課か 地域住民の理解を得るには？	C・D
	消防団地区割問題（6団体）	E
	ゴミ機能	E
コミュニティ機能の向上	自治会連合会やコミュニティ協議会 自治会役員が固定されているのはなぜ！？	E
施設や設備の改善	趣味やサークルで使用しているが、駐車場が狭い	C・D
	体育館の照明をLED等に変更したらどうか	C・D
市民交流の場所	年寄り・子供は使うが中間層が使わない 中間層が何も求めない	B
	コミュニティ活動	B
地域別課題の改善	課題が地域によってばらばらで差があったり、同じ問題でもやり方に差がある	E

機能・役割などへ要望	意見など	班名
使い方の改善	使い方のイメージがつかない	A
	飲食も音もダメ	A
	利用率が低い	A
	生涯学習	B
	登下校の見守りの人の待機場所	C・D
	キタガク―参加者が多く、高齢者が若々しくいるための役に立っている	C・D
	軽食をとれる場所がない	C・D
	部屋の稼働率向上	E
	生涯学習機能―基本はできているが、以下に参加率をアップするか（キタガク）	E
	（講座）事業内容	E
	社協機能	E
	高齢化問題に対応した使い方	E
	防犯パトロール	E

今後どのようにしていったらよいか

対策・提案	意見など	実施時期や手法	班名
施設の集約	自治会館の集約	短期	A
	数を減らして適正化		A
	建物	長期	A
	管理、コミュニティ		A
	行政が公民館コミュニティ全体を統一化する方向で方針を立てたほうがいい		C・D
施設の複合化	学校との連携	長期	B
施設の用途変更	倉庫・駐車場としての利用		B
新機能を付加し サービス向上	持ち込みOKのなんでも可能なスペース	長期	A
	図書館を建ててみんなで集える		A
	喫茶店		A
	市内の外国人との交流会		A
	地域のものを販売する。安く買えるし利益も生む		A
	出張美容室でお年寄りに近場でサービスを提供する		A
	野良ペット（猫）の出張去勢手術の場所		A
	法人単位でも利用OK!		A
	高齢者・子育てに今より重点を置くべきである。そのための対策を公民館に求める		C・D
新しい整備の方向	子どもが利用できる場（キッズコーナー）があれば良い		C・D
	子育て中の人の過ごせる場、常時行ける部屋を設置		C・D
	放課後の子どもの居場所として小中高 （例）バスケットコートの設置		C・D
	えつらんができるように図書館設置。無理なら図書コーナーから始める		C・D
	高齢者が歩いたり運動できる施設・公園を各地域に整備する		C・D
イベントの充実	自然豊かな北本を知るため、それぞれの地域見学会を持つ（南部デーノタメを知らない人がいる）		C・D

対策・提案	意見など	実施時期や手法	班名
機能の統合	養護老人ホームや保育園と併設・統合する	ハード	E
交通手段の改善	公民館とバス停の位置関係を把握する		C・D
	コミュニティで公民館等にバスが止まるようにできるか？（バス停を作れるか）		C・D
コミュニティの意識を変えていく	様々な人がかかわりを持つべき	ソフト	E
新機能を付加しサービス向上	地域全体の活動センターとしての役目を持つようにする		C・D
	新しい講義（ロボット・プログラミング）ー若い人たちが参加するだろう	ソフト	E
利用方法の改善	いろいろな教室をもっと多くする		C・D
	幼児が学べる場があれば良い		C・D
	母親が学べる場があれば良い		C・D
	少子化対策、人口減対策として地域塾（勉強を教える）を持つ。空き教室・公民館を使い、地域塾を作り地域の人材を活用していく		C・D
	教室で仲間になり、後ほどサークルに入れるような仕組みをつくる		C・D
	学校の調理室を利用して準備することから始める		C・D
	小さな修理は公民館支援ボランティアを募り、実費だけでできるようにする		C・D
	児童指導員による遊び・学習指導を行う		C・D
	市の窓口機能		B
	夜間利用の廃止	短期	B
	現地に行かず、役所等またはネットにて予約をとれるようにし、利用状況もネットからわかるとよい		C・D
	空き部屋の利用時間がもっと自由になると良い		C・D
	社協がもっと多くの役割を担ってもらいたい		C・D
	地域学習のセンターとしての役割を続ける		C・D

対策・提案	意見など	実施時期や手法	班名
利用方法の改善	緩和方向へ	短期	A
	休日や夜など子どもや通勤者でも利用できる時間を優先する		A
防災機能改善	物資の管理		B
	各自主防災組織との連携		B
利用者意見の吸収する仕組みづくり	利用団体単位ではなく、様々なひとたちが混合する場を作る	短期	A
	市民の求めることを吸い上げるスペース		A
	意見交換会を開く		A
利用料金の値上げ	利用料金の値上げ		B

6 第５回市民ワークショップ

6-1 第５回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	３月２日（土）10：00～12：00
テーマ	全市的施設のあり方について
場所	文化センター３階　第３会議室
参加人数	16 人（男性 13 人、女性 3 人）　3 テーブル構成

＜概要＞

文化センター、体育センター、野外活動センター、健康増進センターについて、「建物」「機能」「運営」の側面から、各施設について今後どのようにしていくかについて、意見交換を行いました。

6-2　第５回市民ワークショップのまとめ

各施設について今後どのようにしていくか

【文化センター】

	項目	意見	班
建物	改修・建替	席を増やす	A・B
		音響設備を充実させる（有名アーティストを呼ぶ）	A・B
	多様なニーズに応える	築相当経年しているので、全体的に老朽化進行	D
		近年の１Fトイレ改装は好評	D

	項目	意見	班
機能	ホール	市内外からも来てもらえるコンサート等	A・B
		ホールは市のシンボルとして残す	A・B
		利用率を上げて改修費をペイできるようにする	A・B
		専門的な講演会（市民が興味のある内容）を増やす	A・B
		体験型イベントを開く	A・B
	会議室	会議室・研修室の見直し（縮小傾向）	A・B
		公民館とかで代替	A・B
	図書館	大人用図書館、児童用図書館との分離	D
		図書館は残す	A・B
	駐車場	駐車スペース少ない	D
		イベント使用者は駐車スペースを提供する	D
		交通の便の改善	D
	その他施設	費用削減のため広域連携で廃止（プラネタリウム）	A・B
		1Fロビーをもう少し居心地のいい空間となるように考える	D
	ネーミング	市民に分かりやすいネーミングに変更	D
		一施設に文化センター、公民館、図書館でどれがどれだかわからない	D
		中央公民館と文化センターの一本化（予算削減）	D
	機能改善	パネル設置が大変。壁面利用できないか	D
		荷物搬入に荷物用エレベーターがあると良い	D
		3階第１・２のスクリーンを固定式からスライド式へ	D
		朝市に使えないか	D

	項目	意見	班
運営	ホール	利用率上げる	A・B
		ホールが空いているのになぜロビーでやって満員、入場できないのか	A・B
		料金を下げる（収入に影響少）	A・B
		市内外も含め料金を見直し、上げる	A・B
		市内のほかの施設の利用率を上げるような事業	A・B
		鳥の講演会	A・B
		イベント時に北本市内のお店の利用	A・B
	会議室	小分けにして（パーテーション等）使いやすく、効率化	A・B
		会議室等利用の少ない時間帯の値下げ	D
	その他施設	民間活力の導入	A・B
		利用範囲を広げる	A・B
	利用の向上	興業の魅力化（他市県施設の状況を参考にする）	D
	運営の見直し	開館時間　準備の時間がない	D
		会議の利用時間早められないか（8時45分→8時）	D
		利用料金を市内と市外で変える	D
		少年少女合唱団（週に1回利用）が会場利用料に行き詰っている→練習利用は無償にできないか	D

【野外活動センター】

	項目	意見	班
建物	残す・改善する	ホールを改善する	A・B
		現状維持	C・E
		存続してほしい。アウトドアの経験ができる	C・E
		多目的広場をキャンプ場（炊事場）に拡張する	A・B
		駐車場を増やす	A・B
		駐車場を広くする	C・E

	施設名	意見	班
機能	ホール	野活で本物の星を見る（プラネタリウムで見るより良い）	A・B
	BBQ広場	利用状況は現状でも良い（予約できないほど）	A・B
		ドームができて雨の日でも使用できる	A・B
		複数グループ対応可能	C・E
	多目的広場	グランドゴルフができる	A・B
		用途がよくわからない	C・E
	カラオケ	廃止	A・B
		一部の人に限られている	A・B
		楽しい	C・E
	宿泊	学生たちの語学交流の場とする	A・B
		ラグビーワールドカップにおける外国人宿泊所	A・B
		雨天でも利用できる	C・E
		新設してもよい	C・E
	お風呂	ボイラーを廃止し、薪で湯を沸かす	A・B
	防災	河川の水を活用して炊事できる	A・B
	円形大屋根	使いやすい	C・E
	その他	市外からの利用が多くないか	C・E
		夜に星を見ることができる	C・E
		多様なレクリエーションができる	C・E
		野外活動業務に統一（キャンプ場、ゲートボール、グランドゴルフ等）	C・E

	項目	意見	班
運営	周知活動	若い人が運営しており、facebookを毎日更新するなど情報発信は非常に良い！	A・B
		利用できる内容がわからない	C・E
		PRが足りていない	C・E
	利用方法	予約方法の改善（並ばなくてもよいように）	A・B
		市内→3か月、市外→2か月など、市内の予約を優先する	A・B
		市外の料金を割高にする	A・B
		500円/区画や、7000円/バンガローなど、安すぎるので料金を値上げしても良い	A・B
		ホールの料金を低くするべき	A・B
		市内・市外の利用者を把握しているか？市外は高くても良いのでは	C・E
	新しい使い方・イベント	芝生広場でコンサートなどの企画	A・B
		前の広場でイベントを開催する	C・E
		グランド等を整備し、他地域の人たちのスポーツ利用を図る	C・E
		季節別アウトドアのイベントを開く	C・E
		ウォーキングの休憩所	C・E
		ターザンロープ	C・E
		高尾の史跡コーナーを作る	C・E
	施設の機能	河川公園との連携拡大	A・B
		風呂、カラオケの設備を健康増進センターに統一し、野外活動を充実させる	C・E
		若者、家族連れの利用のものと宴会者の利用のものを分ける必要はないか	C・E
		アウトドア初心者への指導・教育が欲しい	C・E
		職員の対応がいまひとつ	C・E
		シルバーの仕事の中に、バーベキューの後片付けなどを入れられないか	C・E
		バーベキューの料金を後片付け代込みにする	C・E
	交通	バスがないので、交通の便を確保	A・B
		交通手段を作る	C・E
		バスの頻度アップ	C・E

【体育センター】

	項目	意見	班
建物	残す・活用する・増やす	更新必要（現状以外のスポーツができる、使用を考えて更新する）	C・E
		駅の東側だけでなく、西側にも必要（特に高齢者向け、栄小ほか）	C・E
		継続使用できるようにしたい	C・E
		トイレを改修しているが、体育靴で利用できるように	C・E
		修理して長寿命化する	C・E
		前庭の有効活用を考える	C・E
		場所が市の中心地でなく使いづらい	C・E
		現状のままでいい	C・E
		プールを作ってほしい	C・E

	項目	意見	班
機能	体育館	公式競技の場	C・E
		競技者の体力アップ	C・E
		サークル活動で各種スポーツに利用	C・E
		スポーツサークルの練習の機会が保障されている。小学校体育館も利用したい	C・E
		多くの市民が運動していて、よく利用されている	C・E
		小学生向けのサッカー教室、バスケ教室をもっと多く	C・E
		小フロアはバレーボール、バトミントン	C・E
		住民の体育の振興を図るが、各競技に必要なスペースと道具がそろっていない	C・E
		卓球の道具が老朽化している	C・E
		市内最大フロアなので大会対応可能	C・E
		各種イベントに使用（スポーツ以外の催し物）	C・E
		アリーナは大きな団体でないと使えない。ファンクラブなどは高くていいと思う	C・E
		ニュースポーツ講習会実施	C・E
		広範な種目の競技ができる	C・E
		市として、このスポーツを育成し有名な選手を生み出す方策が見えない	C・E
		各競技、本当の初心者ができる環境でない	C・E
	トレーニング室	体力増進	C・E
	高齢者	自動の機械はつえをつく老人には危ない	C・E
		老人用のジムが必要だと思う	C・E
	指導者	各競技にトレーナーが十分でない	C・E
		優秀な指導者から直接指導を受けられるようにする	C・E
		卓球教室では4回/月で2080円と指導料が高い	C・E

	項目	意見	班
運営	周知活動	ホームページで確認できるようにする（利用度、申し込み、イベント）	C・E
		体育センターで利用可能なスポーツイベントの情報発信	C・E
		公民館などの公共施設の受付	C・E
		ホームページ、広報	C・E
		回覧板を利用	C・E
		経験者をPRに活用する（安価にできそう）	C・E
	新しい使い方・イベント	スポーツ以外でも広い施設をほかの開催ができるようにしてもらいたい	C・E
		B級グルメ大会、ゆるキャラ大会、おやじバンド大会	C・E
		スポーツの指導教室を開く	C・E
		各年代ごとのスポーツ大会を開く	C・E
		ママさんの活動に子どもの遊び場を併設する	C・E
	利用方法	利用時間の区分を細かくする（1回2～3時間程度）	C・E
		朝9時から始まるが、ジムはもっと早く7時くらいから利用できないか	C・E
		有料利用が定着している	C・E
		予約システム（市内・市外の区分登録）	C・E
		市外の人も同じ料金は、変えたほうがいい	C・E
	施設の機能	各種施設と類似する公民館事業を整理・統合	C・E
		指定管理になっているが、ジムなどはよくみてくれる。事務室の4～5人は必要か	C・E
		職員がとっつきにくい	C・E
		駐車場が満杯の時がある。隣のテニスの人たちが使っている。指示する人が必要	C・E
		中学校の部活で使っている。学校内でやるべきでないか	C・E
		定期的に見直し、入れ替えを行う	C・E
	その他	何かの競技に決め、方向性を明確にし指導する	C・E
		初心者教育をできる人材を活用する	C・E
		足の確保、公共交通システムの乗り入れ頻度アップ	C・E

【健康増進センター】

	項目	意見	班
建物	全体的に不要	利用者が一部に限定されている	D
		ゲートボール場の利用が少ない	D
		お風呂は高い修繕費を出して直す必要がない	D

	施設名		班
機能	多目的広場	有効利用	D
		静かな空間づくり（広場の一部改修）	D
	カラオケ	固定客のみ.	D
	ゲートボール場	使われていない。ゲートボール→グランドゴルフへの転用	D
	その他	高齢化、孤独老人の増加の手助けになるような改善	D
		健康増進を目的とするなら東、西にある公民館を活用してはどうか	D
		イートインコーナーがない	D

	項目		班
運営	利用向上	市民のニーズをリサーチする	D
		利用時間の見直し（7～20時）	D
		利用時間が短い（お風呂は15時までとなっている）	D
		60歳以上と以下で料金が違うが、同一料金でいいのでは？	D
		健ちゃんバスとの連携・利用層拡大を図る（対高齢化）	D
	利用料金見直し	シルバー人材利用料金はいくらか？増額検討	D
		風呂料金アップ（65歳～：100円、一般市内：200円、一般市外：500円）	D
		受益者負担率を上げる（公平とは？）	D
	PR	健康増進の取組をやって広く周知する	D
		施設の内容やどのようなことをやっているか知らせる	D
	民間ノウハウ	施設内部の多様化	D
		温泉（源泉）を掘って天然温泉施設で再出発	D
		源泉販売も一案、車リースも有料化	D
		夢庵ノウハウを導入して運営改善	D
	利用上の改善	スリッパになるのが不便	D
		風呂や広間カラオケは利用客が固定されていて新規は難しい	D
		利用者へのルールとマナーの徹底化	D
		カラオケ廃止	D

7 第６回市民ワークショップ

7-1 第６回市民ワークショップの実施状況

実施日、時間	４月２０日（土）10：00～12：00
テーマ	第１回～第５回のＷＳ結果のまとめ
場所	文化センター３階　第３会議室
参加人数	16 人（男性 13 人、女性 3 人）　3 テーブル構成

＜概要＞
第１回から第５回までの内容を振り返り、市の公共施設のこれからのあり方について、意見交換を行いました。

7-2　第６回市民ワークショップのまとめ

《類似機能の集約化が必要》

＜優先順位の目安＞
短：短期（１～２年）
中：中期（３～５年
長：長期（10 年）

長：公民館の集約
長：保育所の集約
長：学校の再編

《複合化（空きスペース等活用）、統廃合が必要》

長：学校施設と複合化・・・【公民館、図書館】
中：公民館へ従来の社会教育法にとらわれない新たな機能の追加
（喫茶コーナー・コンビニ、お母さんや子どもの遊び場など）
長：老朽施設を改修し長期利用又は統廃合【公民館】
中：学区を見直しし統廃合・将来、小中一貫校 【学校】
長：廃校の有効活用 【学校】
（地域交流拠点、福祉施設、保育施設、防災施設、民間の利用）
中：余裕スペースの有効活用 【学校】
（地域交流拠点、福祉施設、保育施設、防災施設、娯楽施設、スポーツ施設、学習施設、防犯施設、行政施設、民間の利用）
長：公共施設との複合化の場合は、エリア分離、別棟が望ましい【学校】
長：養護老人ホームや保育園と併設・統合する【公民館】
短：子どもと高齢者の間の世代層は利用しない【公民館】

《サービスの向上ー利用効率検討、利用や安全性の見直しが必

長：高齢化社会に対応した施設設備の見直し…【全般】
中：地域の交流の場づくり、多世代利用の取組…【公民館】
中：空きスペースなどを市民活動の場として活用…【学校】
中：災害に備えた設備などの改善…【全般】
短：用具点検を実施し,新しいものに更新…【体育センター】
短：放課後の子どもの居場所…【公民館】
短：稼働率の向上、事業内容の見直し…【公民館】
短：高齢者・子育て機能に重点を置く…【公民館】
短：市民健康維持・増進の取組み…【公民館】

《利用料金の見直し、財源増が必要》

短：貸出料金、施設利用料金見直し・・・【全般】
短：利用に関する市内、市外の利用料金ー改正など…【全般】
短：市外の利用料金を適正に徴収する…【全般】

《民間資金・ノウハウ活用、地域管理が必要》

中：稼動改善のために民間へ管理委託…【図書館、公民館】
短：地域のボランティアの地域力を活用、自治会へ委譲
中：民間に貸し出し収入や雇用を産み出す…【学校など】

《公共交通手段、駐車場の充実が必要》

中：バス運行の見直し
長：駐車スペースの適正化
長：学校の統廃合の場合はスクールバス運行【学校】

《周知や利用方法改善が必要》

短：詳細な施設情報を提供
中：市民にわかりやすいネーミング…【文化センター】
短：PR 不足…【健康増進センター】
短：予約、空き情報、利用方法のネット利用で充実

《廃止が必要》

中：施設全体、特に風呂機能は不要…【健康増進センター】
中：費用削減のためプラネタリウムは廃止…【文化センター】
中：風呂のボイラー廃止…【野外活動センター】
中：維持できないなら廃止…【全般】
中：固定の人に占有され、新規利用がしづらいカラオケの廃止…【野外活動センター・健

《残したい機能》

短：図書館
短：ホールは市のシンボルとして残す（席を増やす）
短：野外活動センター（現状維持、存続してほしい、アウトドアの経験ができる）

《施設見直しの体制づくりが必要》

短：関係する団体との連携…自治会、社協、広域自治体連携、自主防災組織
短：市民ニーズを吸収する方法の改善
短：意見交換会を開く

公共施設はこれからどのようにしたら良いか

- ■ 人口増加、これが1番の解決策
- ■ 若い世代、将来世代を念頭に再編
- ■ 若い世代に利用の習慣づけ

- ✓ 公民館の空きスペースを、子育て交流の場
- ✓ 公民館は災害拠点に必要
- ✓ 公民館の維持と学校の活用
- ✓ 引きこもりの居場所に公民館活用
- ✓ 体育館は集約

- ■ 再編はモデルケース的に行うべき
- ■ 専門家の意見を随時聞く、数値的裏付施
- ■ 市や関連団体の案を市民と意見交換
- ■ 優先順位を決めて実施
- ■ 最後に、今回の WS を公表してほしい